

新技術・新工法の評価・検証に際しての評価方法

1. 評価・検証に際しての評価方法

評価・検証は、次ページの「新技術・新工法の評価・検証シート(案)」を用いて行う。審査項目ごとに4段階評価による判定を行い、S, A, B, Cの判定を記入する。各審査項目の判定結果を勘案して、総合コメントを記入し、総合評価を行う。

なお、「主な内容」以外の内容で特に優れたものがある場合は、コメント欄に記入し、判定に反映できることとする。

[特記事項]

- ・ 事務局による事前審査において、提案の前提条件を満たさないものについては、評価・検証の対象としない。
- ・ 各委員により個別評価を行い、会議において合議のうえ、最終的な評価を確定する。
- ・ 委員との利害関係者からの提案があった場合は、当該委員はその提案の評価は行わない。
- ・ 評価・検証を行う際、委員には提案者名を明らかにしない。

新技術・新工法の評価・検証シート（案）

（案 件 名）

審査項目	主な内容	判定（S,A,B,C）	コメント
実効性	施工実績などをもとに確実な効果が実証できるか		
	豊洲に適用が可能で、実現の可能性は高いか		
	長期的に効果が持続するか		
	上記以外で特に優れた内容があるか（コメント）		
環境への配慮	周辺環境への影響は少ないか		
	上記以外で特に優れた内容があるか（コメント）		
施工性	施工のしやすさはどうか		
	工事の安全性は確保されているか		
	上記以外で特に優れた内容があるか（コメント）		
経済性	コスト削減効果はどうか		
	上記以外で特に優れた内容があるか（コメント）		
工期	工期短縮の程度はどうか		
	上記以外で特に優れた内容があるか（コメント）		
【総合コメント】		【総合評価（S,A,B,C）】	

4段階評価	判定
特に優れている	S
優れている	A
標準	B
標準に達しない	C

2. ケーススタディ

第1回技術会議において紹介した ~ の新技術・新工法のうち、 、 、 、 、 を対象として、評価・検証のケーススタディを行う。

項目	新技術・新工法名称	内容
汚染土壌・汚染地下水対策		
液状化対策など		

新技術・新工法

項目	汚染土壌・汚染地下水対策	名称		
<p data-bbox="147 309 264 344">工法概要</p>				実効性
				施工性
				周辺環境への影響
				施工単価
				工期

新技術・新工法

項目	汚染土壌・汚染地下水対策	名称		
<p data-bbox="145 343 257 375">工法概要</p>				実効性
				施工性
				周辺環境への影響
				施工単価
				工期

新技術・新工法

項目	汚染土壌・汚染地下水対策	名称		実効性
<p data-bbox="145 327 264 363">工法概要</p>				施工性
				周辺環境への影響
				施工単価
				工期

新技術・新工法

項目	液状化対策	名称		
<p data-bbox="136 336 259 379">工法概要</p>				実効性
				施工性
				周辺環境への影響
				施工単価
				工期

新技術・新工法

項目	汚染土壌・汚染地下水対策	名称		
<p data-bbox="152 331 259 368">工法概要</p>				実効性
				施工性
				周辺環境への影響
				施工単価
				工期